

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士（医学） 氏名 渡邊 祐介

主査	教授	大滝 純司
審査担当者	副査	准教授 神山 俊哉
	副査	教授 荒戸 照世
	副査	教授 櫻木 範明

学位論文題名

体系的な内視鏡外科トレーニングの構築に向けた基盤研究
(Studies on the Development of Systematic Training in Laparoscopic Surgery)

本研究は、我が国の外科修練制度の整備へ向け、腹腔鏡手術領域における外科教育研究の重要性を提唱したものである。組織化が進む北米型高度専門研修における課題を示し、我が国の修練制度を整備していく上でも参考になる結果を導いた。また、エネルギーデバイスを例に、外科医の知識不足を明らかにしたことで教育プログラムの必要性を示した。加えて、技能評価ツールとしてシミュレーションタスクの妥当性を検証した。

審査にあたり、副査の櫻木範明 教授より北米型高度専門研修プログラムの実態と我が国における専門研修制度の必要性に関する質問があった。また、腹腔鏡手術教育の臨床的効果についての質問に対しては傍証的效果を示した。副査の荒戸照世 教授からは、エネルギーデバイスの理解度に関して北米外科医と差について、シミュレーションタスクの妥当性研究における新規タスクの追加意義の検討方法についての質問があった。さらに、我が国にシミュレーショントレーニングを導入する場合に考えられる課題についての質問があった。副査の神山俊哉 准教授からは、内視鏡外科トレーニングを外科専門医修練カリキュラムへ導入する際の課題について、また、新規シミュレーションタスクのトレーニング効果に関して質問があった。最後に、主査の大滝純司 教授より各研究の方法論に関する質問ならびに確認があり、質的研究のデータ分析法や古典的信頼性理論、妥当性評価の方法論について説明した。

全ての質問に対して、申請者はその主旨を的確に理解し、文献的考察を混じえて適切に回答した。また、今後の課題や展望についても逐次的課題を明確に挙げ、研究結果の応用について明確な考えを示した。

審査員一同はこれらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ、申請者が博士（医学）の学位を授与されるのに十分な資格を有すると判定した。